



交通安全協会会報

VOL.54 2012 8.1



発行所

社団法人松江地区交通安全協会
松江市袖師町5-10(松江警察署内)
TEL24-8782(FAX兼用)

ホームページ [松江地区安協](#)



みこびーくん

しじみちゃん

平成24年度 (社)松江地区交通安全協会通常総会の開催 ～平成24年度事業計画・収支予算(案)を可決～



6月8日(金)、松江市西嫁島「ホテル穴道湖」において、役員、正会員315名中、297名(含む委任状)が出席、平成24年度(社)松江地区交通安全協会の通常総会を開催致しました。

総会は、会長三島 進から「高齢者の交通事故が増加傾向にあるが、地域あげて交通事故防止に取り組み安全・安心で快適な交通社会の実現を図りたい、本日は6つの議案を提案するので慎重な審議をお願いする」旨の挨拶に続いて

松江市長(代理 松江市防災安全部長) 小川 真 氏
松江警察署長 宇山 洋 氏

がそれぞれ祝辞を述べられました。

総会は、正会員 森 泰氏を議長に選出し、同議長は

生馬支部 吉岡 瞭 氏
雑賀支部 内田 正英 氏
穴道支部 持田 敬 氏

を議事録署名人に指名、議案審議に入りました。

- 第1号議案 平成23年度事業報告について
- 第2号議案 平成23年度収支決算書・財産目録・貸借対照表及び監査報告について
- 第3号議案 平成24年度事業計画(案)について



- 第4号議案 平成24年度収支予算書(案)について
 - 第5号議案 一般社団法人への移行と定款の変更(案)について
 - 第6号議案 役員改選について
- 以上6議案について審議、何れも異議なく承認可決されました。
ひきつづき「宣言(案)」として

- 1 子どもと高齢者に対する思いやりのある運転に努めます
- 2 「飲んだら乗らない 乗るなら飲まない 乗るなら飲ませない」の三ない運動を推進し、飲酒運転を根絶します
- 3 車に乗るときは、全ての座席のシートベルト・チャイルドシートを正しく着用し、安全な速度での運転に努めます
- 4 自転車に乗る時もルールとマナーを守って安全な走行に努めます
- 5 夜間外出する時は、夜光反射材を有効活用します

の5項目を、理事 川中 瀧子氏の朗読で提案され、満場一致で採択されました。

美しい心とふるまいを運転行動に

松江警察署長 宇山 洋



毎朝、登校する児童生徒の安全確保のため、要所要所に立って交通誘導や見守り活動についていただいている交通指導員や交通安全協会の皆さんに、頭を下げながらマイカー通勤しています。全国各地で、登校中の児童の列に衝突するような無謀な運転による事故が相次いでいる中、松江市内では子供たちの明るい挨拶の音が響き渡っていますが、こうしたボランティアの方々の篤志に支えられている、そのお陰です。

一方、運転者側の様子を見ますと、飲酒運転や横断歩行者の妨害など、悪質で危険な違反が後を絶たないほか、守り、いたわるべき高齢者が歩行中にはねられるような悲惨な交通死亡事故も続発しました。まさに、危険な道具を扱う運転者としての、安全に対する意識が問われているところです。このような運転者には、雨の日、風の日、一日も欠かすことなく子供たちの安全を願い活動しているボランティアの熱い思いが届いているのでしょうか。

言うまでもなく、交通事故防止の要諦は、道路を利用するすべての人が、安全に運行、通行することへの責任と他者への思いやりの心といった、安全への強い意識を持つことにあります。さらに遡れば、例えば永年社会に貢献してこられた高齢の方々に尊敬し、大切にするといった、日本人としての美しい心とふるまいの復活がその根底にあるのではないかと思います。

松江警察署におきましては、悪質危険な交通違反の取締りをはじめ、事故多発場所、時間帯における街頭活動の強化などにより、下半期における重大事故の絶無を期してまいります。

会員の皆様におかれましても、引き続き安全運転の範を示していただくとともに、地域と市民一人一人に安全の意識が広がりますよう、一層の取組をお願いします。

会長再任あいさつ



(社)松江地区交通安全協会 会長 三島 進

去る6月8日(金)、当協会の平成24年度通常総会を開催し、本年度の事業計画(案)及び収支予算(案)、それに来年度から予定しています一般社団法人への移行を始めとする諸議案につきまして、ご承認を頂きました。

その中で、役員改選につきましてもご審議を頂き、私自身、図らずも会長として再任され、再び当協会の運営を掌ることとなりました。私にとって身に余るものがありますが、ご推挙を頂いた以上ご期待を裏切らないよう、協会運営に万全を期す所存であります。

さて、最近の交通情勢であります。皆様方の熱心な活動によりまして交通安全への気運は大変な盛り上がりをもたせるとともに、ここ数年交通事故や交通死亡事故が減少してきておりました。しかし残念ながら今年に入りまして交通死亡事故が大幅に増加する等大変憂慮すべき状況にあります。

なかでも、高齢者の方々が犠牲になられる交通事故が半数以上を占めているほか、歩行者等交通弱者の方々の事故も増加している現状にあります。

このような交通情勢を踏まえ、当協会といたしましても、あらゆる関係機関、団体との連携を一層緊密にして、市民の皆様方の交通安全意識高揚に向けた各種施策を積極的に展開する所存でございます。

また、交通安全協会を取り巻く環境は、会員の減少傾向や一般社団法人移行に向けた対応等課題はいろいろありますが、皆様方と一致団結し、諸課題に的確に対応してまいりたいと考えておりますので、今後とも当協会の使命をご理解いただき一層のご協力をお願い申し上げます。

結びに、悲惨な交通事故の撲滅と皆様方のご活躍、ご健勝を祈念し、ご挨拶と致します。



交通安全協会はこんな活動を行なっています

会員の皆様の貴重な会費で、充実した交通安全活動を展開しています。これからもご協力をお願いします。

松江市レディースマラソンにおける交通安全啓発活動

「春の全国交通安全運動」を前にして、3月18日（日）県民会館前駐車場において、レディースマラソン参加者や観衆に対して、チラシを配布し交通安全を呼びかけました。



新入学児童と幼児に交通安全用品贈呈

当協会では、新入学児童と幼児を交通災禍から守るため、毎年、交通安全用品を各小学校、幼稚園及び保育所に贈呈しています。今年も3月27日（火）新入学児童に「交通安全反射ナップザック」36校2,007枚、園児に「反射キーホルダー（無事かえる）」5,694個を松江市教育長、松江市健康福祉部長にそれぞれ贈呈しました。

贈呈した交通安全グッズは交通安全協会各支部長を通じて各小学校や幼稚園・保育所にお渡し致しました。



贈呈品

交通遺児へ激励金を贈呈

当協会では、不慮の交通事故により、大切な親御さんを失われ、困難にもめげず、頑張っておられる交通遺児の方々が、立派な社会人として成長されることを願って、例年新学期を前に激励金を贈呈しています。今年も多数の方々から善意をいただいた募金に当協会の助成金を合わせ「交通遺児6名」の皆さんに激励の言葉を添えて贈りました。

◎寄付者名（順不動・敬称略）

松江建設事業協同組合（松江市嫁島町）、松江暁の星幼稚園（松江市母衣町）、市岡眼科医院（松江市古志原）、カナツ技建工業（株）、松尾敏朗氏



はつらつモデル地区指定式→竹矢地区

高齢者の交通事故防止対策の推進事業として、安全協会と警察では、高齢者率の高い竹矢地区を指定し、5月18日（金）竹矢集会所において後藤支部長へ「指定書」が交付されました。竹矢地区におかれましては、今後1年間、積極的な高齢者に対する交通事故防止対策が展開される予定です。



飲酒ゴーグル体験

春の全国交通安全運動における広報検問

春の全国交通安全運動初日の4月6日（金）、松江若武者隊を交通安全大使に任命し、松江市あっぱれ君、しじみ姫とともに、警察、安全協会等関係機関から65名が参加し松江湖畔駐車場（とるば）において、通行する車両の運転手に対し、チラシや啓発品を配布し交通安全の周知と交通事故防止を呼びかけました。



「とるば」にて

交通安全啓発用品の寄贈について

交通安全協会は、全国共済農業協同組合連合会島根県本部から、子どもと高齢者の交通事故防止対策の一環として、交通安全講習資機材（クイックアーム）やチャイルドシートの寄贈を受けました。

今後、当協会と警察で実施する交通安全教室や、窓口においてチャイルドシートの貸出を予定しています。



交通死亡事故現場における現地検討会

6月22日（金）警察、交通安全協会、道路管理者等関係機関が玉湯町地内国道9号の交通死亡事故現場において、警察から事故の説明を受けた上で、現場の意見を出し合い、再発事故防止に向け検討会を行いました。



玉湯町9号沿

松江市交通安全ウォークラリー大会の開催

4月14日（土）春の全国交通安全運動の一環として、松江市末次公園を主会場に第26回松江市交通安全ウォークラリー大会を開催しました。

当日は好天に恵まれ参加した親子54チーム181名は「あっぱれ君」が見守る中、末次公園をスタートし松江城周辺約2キロを散策しながら、各チェックポイントにおいて交通安全クイズに挑戦する一方、会場では、「白バイ・パトカー試乗」また「交通安全ビンゴゲーム」では交通標識について遊びながら理解を深める事が出来ました。



スタート時

クイズに挑戦

